

InfoSOSA™シリーズ

Version2.5-2.7 リリースノート

株式会社ディ・エム・シー
<https://www.dush.co.jp/>

目次

Version2. 7. 1	3
Rev. C	3
Rev. B	5
Rev. A	6
Version2. 7. 0	15
Rev. B	15
Rev. A	17
Version2. 6. 4	24
Rev. B	24
Rev. A	26
Version2. 6. 0	31
Rev. D	31
Rev. C	32
Rev. B	33
Rev. A	34
Version2. 5. 6	37
Rev. B	37
Rev. A	39
Version2. 5. 3	42
Rev. A	42
Version2. 5. 2	44
Rev. A	44
Version2. 5. 1	45
Rev. A	45

Version2.7.1

Rev.C

モジュールバージョン

InfoSOSA Builder		2.7.1.3
IS7 Runtime		2.7.1.3
IS-APP		2.4.1.2
IS-API		1.3.2
IS-APP SETTING		3.1.1

ソフトウェア変更内容

1) その他

IS731/IS-APP 共通



- システムフォント「中国語-簡体字ゴシック体」の GB18030-2022 対応

注意事項

中華人民共和国(中国)の国家標準規格 GB18030 の改定により、旧規格の簡体字ゴシック体（バージョン 2.7.1.2 以前の InfoSOSA ビルダで作成されたデータ）をご使用され、2025 年 3 月 22 日以降に中国国内に出荷された場合、ライセンス違反になりますのでご注意ください。

2) 不具合修正

IS731



- 「リンクデータの設定」アクションが正常に動作しない

[対象バージョン]

2.7.0.1 ~ 2.7.1.2

上位通信テスト (Ver.2.3.0.1)



- 英語表示にならない

[対象バージョン]

2.3.0.0 のみ

※InfoSOSA Builder 2.7.1.1～2.7.1.2 に同梱されている上位通信テストが対象

ドキュメント変更内容

1) IS-APP スタートアップガイド (第 10 版)



- 1.2 関連ドキュメント
- 1.5 EM シリーズ本体と PC との接続
- 1.6 IS-APP/IS-API/IS-APP SETTING の更新
- 1.7.7 EM シリーズへ転送
- 1.7.8 IS-APP 単体テスト
- 2.2.2 ライブラリ/ヘッダファイル
- 2.3.2 実行ファイル名
- 2.3.3 使用方法

内容を更新しました。

2023/12/4

Rev.B

モジュールバージョン

InfoSOSA Builder		2.7.1.2
IS7 Runtime		2.7.1.1
IS-APP		2.4.1.2
IS-API		1.3.2
IS-APP SETTING		3.1.1

ソフトウェア変更内容

1) 不具合修正

IS-APP



- 正常に起動しない場合がある（タイマー型メモリと時計が動作しない）

[対象型式]

EM(G)8-W104A7-****-**7

EM(G)8-205A7-****-**7

EMP-W207A7-****-**7

[対象バージョン]

2.4.1.1 のみ

2023/5/19

Rev.A

モジュールバージョン

InfoSOSA Builder		2.7.1.1
IS7 Runtime		2.7.1.1
IS-APP		2.4.1.1
IS-API		1.3.2
IS-APP SETTING		3.1.1

ソフトウェア変更内容

1) 機能追加

IS-APP



- 新部品「スライダー」を追加しました。



- IS-APP から「バックライト輝度」「バックライト自動 OFF 時間」を変更できるようになりました。以下の環境変数に書き込むことでシステム設定を変更できます。

ID	説明
AUTOOFF	バックライト自動 OFF 時間
BRIGHT	バックライト輝度

以下の上位通信コマンドに対応しました。

上位通信コマンド	説明
SC04	バックライト自動 OFF 時間設定
SC05	バックライト自動 OFF 時間取得
SC06	バックライト輝度設定

SC07	バックライト輝度取得
------	------------

- IS-APP から「時刻」が変更できるようになりました。
以下の環境変数に書き込むことでシステム設定を変更できます。

ID	説明
YEAR	時刻設定(年)
MONTH	時刻設定(月)
DAY	時刻設定(日)
HOUR24	時刻設定(時)
MINUTE	時刻設定(分)
SECOND	時刻設定(秒)

以下の上位通信コマンドに対応しました。

上位通信コマンド	説明
TC01	時刻設定

※TC02(時刻取得)は以前のバージョンから対応しています。

- Modbus メモリの初回同期完了時に発生するイベント「First Sync Complete」を追加しました。
- 文字列リソースの最大数を 2000 個に拡張しました。
- IS-APP 起動時にシステム時刻が 2000 年未満の場合は 2000 年 1 月 1 日 0 時 0 分 0 秒に初期化する機能を追加しました。
- EM(G)8 シリーズでサウンド再生に対応しました。スピーカーを接続して、WAV ファイルを再生することができます。※全ての WAV ファイル、スピーカーの動作を保証するものではありません。
- DRAWAXIS メソッドの Y 軸目盛表示間隔パラメータ範囲を 0~3 から 0~5 に拡張しました。

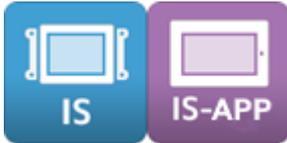
IS731



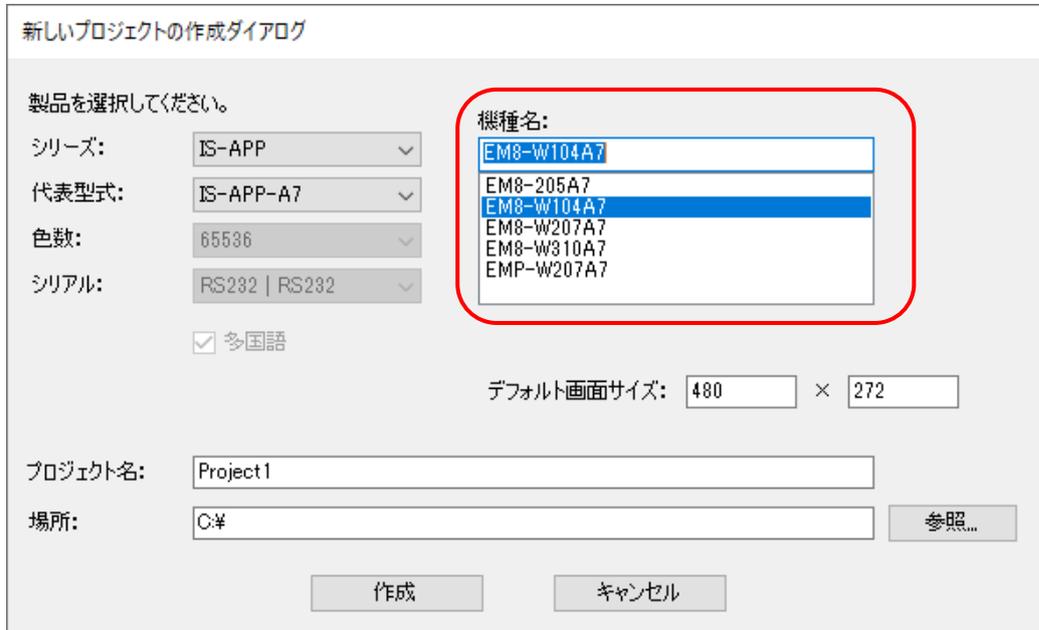
- Modbus メモリの初回同期完了時に発生するイベント「First Sync Complete」を追加しました。
- 空き容量不足の場合に自動的に data フォルダ内のファイル削除する機能を追加しました。
- 文字列リソースの最大数を 2000 個に拡張しました。
- DRAWAXIS メソッドの Y 軸目盛表示間隔パラメータ範囲を 0~3 から 0~5 に拡張しました。
- 出荷時のユーザ領域のファイルシステムのアロケーションユニットサイズを 8KB に変更致します。これにより同じデータをダウンロードした場合でも使用容量が減少し、より多くのデータをダウンロード可能になります。

※システムソフトウェア(OSD モード)が Ver2.6.3.1 以降で出荷された製品が対象です。

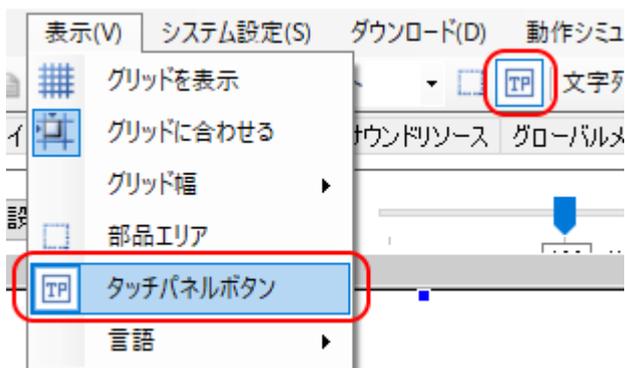
InfoSOSA ビルダ



- IS-APP の新規プロジェクトを作成時に選択する機種名を製品型式に近い表示に変更しました。

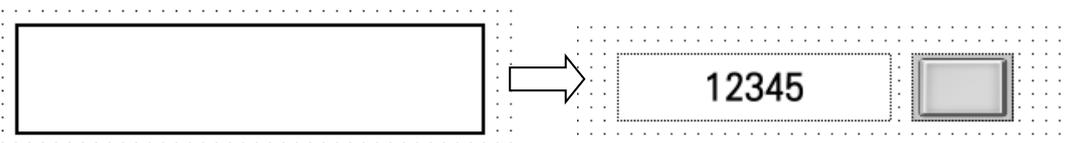


- 編集中に「タッチパネルボタン」部品を一時的に非表示にできる機能を追加しました。



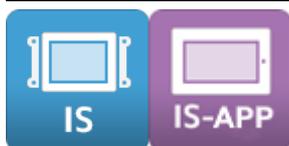
【表示 ON】

【表示 OFF】



- 全ての機種で Modbus プロトコルに対応しました。
※「InfoSOSA Builder Modbus 機能追加ツール」の実行が不要になりました。
- IS731 シリーズ用のシリアルダウンロードツールに対応しました。データ作成時「isp ファイル」に加えて「IS7 Runtime ファイル」が出力されます。シリアルダウンロードツールは、弊社ホームページよりダウンロード可能です。
- Windows11 に対応しました。

上位通信テスト (Ver.2.3.0.0)



- LAN 設定、コマンド発行タブのパラメータ履歴が保存されるようになりました。
- コマンド発行タブにサウンド (SD01,SD02) を追加しました。
- コマンド発行タブのコマンドの並び順を変更しました。
- コマンド発行タブの文字コード設定 (SIO3) のパラメータ設定方法を選択式に変更しました。
- コマンド発行タブのポップアップ A/B を表示 (SC13/SC14) のパラメータ設定に X 座標、Y 座標の設定枠を追加しました。
- Windows11 に対応しました。

2) 仕様変更

InfoSOSA ビルダ



- 誤操作防止の為、マウス操作による「ベース画面/ポップアップ画面」のサイズ変更を行えないようにしました。「プロパティエリア」または「詳細プロパティダイアログ」から「幅/高さ」プロパティの値を変更してください。

IS-APP



- 環境変数「SOUNDVOL」のシステムからの読み込み処理を IS-APP 起動時のみに変更しました。

IS-APP SETTING



- 標準モードで Modbus 機能設定項目を有効にしました。
※起動引数の-u が不要になりました。

3) 不具合修正

InfoSOSA ビルダ



- Modbus メモリのアクション設定 (グローバル) ダイアログをキャンセルするとコンパイルエラーになる
- IS-APP シリーズ選択時、通信設定(ターゲット)ダイアログの SIO1 タブと SIO2 タブの通信プロトコルに「Modbus/RTU」が選択できてしまう
- 「リンクデータの設定」アクションの対象部品にスクロールフレーム部品が表示されてしまう
- 文字列型グローバルメモリの「サイズ」プロパティをリストから変更した場合に保存されない
- 画面ズームフレームの一部リンクメモリに Modbus メモリが指定できない
- Modbus メモリの優先区間が未設定の状態でも保存してプロジェクトを開きなおした後、Modbus メモリの編集を行うと Modbus メモリの優先設定が不正な状態になる

InfoSOSA シミュレータ



- ダブルワード型の Modbus メモリに正常に書き込みが行えない

IS-APP



- サウンドを再生すると IS-APP アプリケーションが強制終了する可能性がある
- 通信設定の Main 引数に IS-API、Sub 引数にシリアルを指定した時に IS-API につながらなくなる

ドキュメント変更内容

1) リファレンスマニュアル（第9版）



- 2.2.1 デフォルト ID 一覧
- 2.5 ジェスチャーについて
- 4.2 InfoSOSA で使用できる部品の一覧
- 4.5.3 タッチパネルボタン
- 6.4.2 Release/Leave イベント詳細
- 7.7 部品操作グループ
- 11.2 環境変数一覧
- 12.1 液晶のバックライトの制御について
- 12.6 時計機能について
- 13.5.1 通信コマンド一覧
- 13.12.6 バックライト自動 OFF 時間設定
- 13.12.7 バックライト自動 OFF 時間取得
- 13.12.8 バックライトの輝度設定
- 13.12.9 バックライトの輝度取得
- 13.12.27 時刻設定
- 13.12.38 DRAWAXIS メソッド実行（シンプルグラフ）
- 13.13.3 操作可能なプロパティ一覧
- 14.1 設定範囲一覧
- 15.1 お問い合わせ
Ver2.7.1 に対応しました。

- 4.13.1 バーメータ
Modbus メモリをリンクした場合の説明を追加しました。

- 4.9.1 ラベル
- 4.17.2 画面ズームフレーム
誤記を修正しました。

- 4.17.5 スライダー
新規追加しました。

- 6.4.2 Release/Leave イベント詳細
- 7.6.2 ポップアップ画面の表示を ON

- 9.4 サウンドリソースについて
- 13.12.12 ポップアップ画面 A の表示 ON
- 13.12.13 ポップアップ画面 B の表示 ON
補足説明を追加しました。
- 12.2 ブザーについて
他のアプリケーションとの排他利用の制限の記述を修正しました。
- 12.3 サウンドについて
新規追加しました。

2) ビルダ操作マニュアル（第10版）



- 2.1 InfoSOSA ビルダ動作環境
- 2.2.1 インストール手順
- 2.3 USB デバイスドライバのインストール
- 3.2.2 ツールバー
- 4.2 新規プロジェクトの作成
- 6.2 グリッドの設定
- 6.3 部品エリアの表示
- 6.4 表示言語の切り替え
- 13.1 H/W 設定
- 14 章 ダウンロード
- 14.3 データ作成(SIO)
- 15.1.2 シミュレータの起動
- 17.1 機種名対応一覧
Ver2.7.1 に対応しました。
- 6.5 タッチパネルボタン表示の切り替え
新規追加しました。
- 16 章 プロジェクト間コピー
誤記を修正しました。
- 14.1 ダウンロードとは
- 14.6 エラーチェック
- 16 章 プロジェクト間コピー
補足説明を追加しました。

3) IS731 シリーズスタートアップガイド（第10版）



- 1.5.1 動作環境
- 1.6.1 USB ケーブルでの接続
- 1.6.2 シリアルケーブルでの接続
- 1.7.2 InfoSOSA プロジェクトの作成
- 1.7.7 InfoSOSA へのダウンロード
- 2.3 ダウンロードツール
- 2.6.1 ダウンロードできない（原因1：ドライバ）
- 2.6.2 ダウンロードできない（原因2：データ破損）
Ver2.7.1 に対応しました。

- 1.5.5 Microsoft Visual C++ 2015 ランタイムのインストール
新規追加しました。

4) IS-APP スタートアップガイド（第8版）



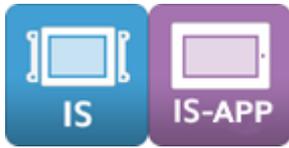
- 1.4.1 動作環境
- 1.6 IS-APP/IS-API/IS-APP SETTING の更新
- 1.7.2 InfoSOSA プロジェクトの作成
- 1.7.7 EM シリーズへ転送
- 2.1.2 実行ファイル名
Ver2.7.1 に対応しました。

- 1.4.5 Microsoft Visual C++ 2015 ランタイムのインストール
新規追加しました。

- 2.1.7 コマンドライン引数
ブザーについて他のアプリケーションとの排他利用の制限の記述を削除しました。
サウンド機能の EM8 シリーズの対応に伴い対象機種種の限定を削除しました。

- 1.7.7 EM シリーズへ転送
- 2.2.7 ClsApi/ClsApi_c
- 2.3.3 使用方法
補足説明を追加しました。

5) 上位通信テスト取扱説明書（第7版）



- 1.2 動作環境
Ver2.7.1 に対応しました。

6) Modbus 機器接続ガイド（第8版）



- 1.1 概要
- 2.1 共通(InfoSOSA Builder)
- 2.2 EM シリーズ
- 3.1.1 新規プロジェクトを作成する
- 3.2 IS-APP の起動設定
Ver2.7.1 に対応しました。
- 4.2.3 First Sync Complete
新規追加しました。

7) Ver2.1 からの移行ガイド（第7版）



- 2.1.5 設定可能値のアップ
- 2.1.1 1 Windows10 対応
- 3.1.1 H/W 設定／通信設定
Ver2.7.1 に対応しました。

2022/12/22

Version2.7.0

Rev.B

モジュールバージョン

InfoSOSA Builder		2.7.0.3
IS7 Runtime		2.7.0.3
IS-APP		2.3.4.2
IS-API		1.3.2
IS-APP SETTING		3.1.0

ソフトウェア変更内容

1) 不具合修正

IS731



- 液晶最下部の1ラインが正常に表示されない

[対象型式]

IS731-5V-***

IS731-5V-***-ML

[対象バージョン]

2.5.1.1 ~ 2.7.0.1

[対象出荷時期]

2022年1月以降

InfoSOSA ビルダ



- 文字列リソースを指定項目での表示順変更(ソート表示)した状態で、文字列データを変更した場合に、異なる文字列リソース ID の文字列データが変更されてしまう
- Modbus メモリの追加、削除を繰り返した場合に正常に Modbus メモリがコンパイルされない場合がある

2022/7/8

Rev.A

モジュールバージョン

InfoSOSA Builder		2.7.0.1
IS7 Runtime		2.7.0.1
IS-APP		2.3.4.2
IS-API		1.3.2
IS-APP SETTING		3.1.0

ソフトウェア変更内容

1) 機能追加

InfoSOSA ビルダ



- InfoSOSA ビルダを 2 つ同時に起動し、2 つのプロジェクトファイルを同時に開くことが可能になりました。また、2 つのプロジェクト間で各リソースのコピーが行えるようになりました。
- 部品間でアクションをコピーすることが可能になりました。
- コンパイルエラーが発生した時の原因箇所表示を改善しました。
- グローバルメモリなどのリストの表示を一時的にソートして目的のメモリを探しやすくなりました。
- 文字列リソースのエクスポート/インポートに対応しました。表計算ソフトなどの外部エディタで編集などが可能になりました。
- イメージリソース/サウンドリソースのエクスポート/インポートに対応しました。ドラッグ&ドロップでエクスプローラーへファイルを移動させることができるようになりました。
- ipp ファイルをビルダに関連付けし、直接開くことが可能になりました。

IS731



- OSDモードの「System Information」に「システムソフトウェアバージョン」に加えて、「プロジェクト実行アプリケーション」が表示されるようになりました。※システムソフトウェア(OSDモード)がVer2.6.2.1以降、プロジェクト実行アプリケーション(Runtime)がVer2.7.0.1以降の場合のみ表示されます。

2) 機能改善

IS731/IS-APP 共通



- システムフォント「日本語-ゴシック体(BOLD)」の表示を改善しました。

IS-API



- IS-APIのClsApi_cクラスを使用した場合のCPU負荷を軽減しました。

3) 仕様変更

InfoSOSAビルダ



- データ量の多いプロジェクトを開く時にかかる時間の短縮、編集時の安定性の向上の為、InfoSOSAビルダを64bitアプリケーションに変更しました。これに伴いInfoSOSAビルダの動作環境が変更になります。

OS	Microsoft® Windows® 10 日本語版(64bit 版)
フレームワーク	Microsoft® .NET Framework 3.5 Microsoft® .NET Framework 4.7
メモリ	4GB 以上 (推奨: 8GB 以上)

※ 変更部分のみ記載

※ Ver2.7.0よりWindows7(32/64bit)、Windows 8.1(32/64bit)、Windows10(32bit)のサポートは終了させて頂きました。

- IS-APP-A7 の新規プロジェクトを作成した場合に最初に設定される「デフォルト解像度」を 480x272 から 800x480 に変更しました。
- 部品を別の画面にコピーした場合は ID を引き継ぐように変更しました。
- イメージフォントのフォントデータが PC にインストールされていない場合でも、強制的なシステムフォントへの変換を行わないようにしました。
- インストーラに旧方式 (Ver2.5 方式) のダウンロードツールを同梱しました。

4) 不具合修正

InfoSOSA ビルダ



- 文字列リソースセット ID に小文字を設定できてしまう。

InfoSOSA シミュレータ



- 特定座標以上の値指定した場合にポップアップを表示できない。

IS731/IS-APP 共通



- プロジェクト内のリソース数が極めて多い場合、正常にコンパイルが行えない。
- 特定アクションでメモリの値を変更すると値変化イベントが 2 重に発生する。

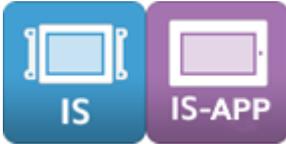
IS731



- 初回ダウンロード中に電源断を行い画面データが破損した場合、ダウンロード (SIO) が行えなくなる場合がある。

ドキュメント変更内容

1) リファレンスマニュアル（第8版）



- 全体
Ver2.7.0の動作環境に更新しました。
- 2.5 ジェスチャーについて
機種対応表を更新しました。
- 4.6.2 マルチステートスイッチ
- 4.8.3 マルチステートランプ
大きな画像を大量に登録した場合の注意事項を追加しました。
- 5.1.1 数値型
SRAM プロパティについて補足説明を追加しました。
- 10.3.5 イメージフォントに関する注意事項2
イメージフォントのフォントデータがPCにインストールされていない場合の動作を更新しました。
- 11.2 環境変数一覧
環境変数の初期値、値範囲、上限値動作の説明を追加しました。
DATACHKの値の説明を追加しました。
- 14.1 設定範囲一覧
誤記を修正しました。(IS-APP：1部品に登録可能なアクション最大数)

2) ビルダ操作マニュアル（第9版）



- 全体
Ver2.7.0の動作環境に更新しました。
- 2.1 InfoSOSA ビルダ動作環境
- 2.2 InfoSOSA ビルダのインストール
- 2.3 USB デバイスドライバのインストール

- 4.3 既存のプロジェクトを開く
- 5.1 画面の作成
- 5.2.1 画面の追加（空の画面）
- 5.2.2 画面の追加（コピーして作成）
- 5.2.3 画面の設定
- 5.2.5 画面の削除
- 5.4.3 イメージフォントの使用
- 7.2.4 画像のコピー
- 7.2.7 画像の削除
- 8.2.3 文字列リソースのコピー
- 8.2.4 文字列リソースの削除
- 8.3.3 文字列リソースセットのコピー
- 8.3.4 文字列リソースセットの削除
- 9.2.4 サウンドリソースの削除
- 10.2.2 メモリのコピー
- 10.2.3 メモリの削除
- 11.1.3 アクションのコピー
- 11.1.7 アクションブロックのコピー
- 11.2.4 サブルーチンのコピー
- 11.2.5 サブルーチンの削除
- 15.1.2 シミュレータの起動

Ver2.7.0に対応しました。

- 4.1.3 ipp ファイルからの起動方法
- 4.1.4 InfoSOSA ビルダの複数起動
- 5.2.6 画面のエラーチェック
- 7.2.3 画像の登録(ドラッグ&ドロップ)
- 7.2.8 画像のエクスポート
- 8.2.5 文字列リソースのエクスポート/インポート
- 8.2.6 文字列リソースのソート表示
- 9.2.2 サウンドリソースの登録(ドラッグ&ドロップ)
- 9.2.6 サウンドリソースのエクスポート
- 9.2.7 サウンドリソースのソート表示
- 10.2.7 メモリのソート
- 11.2.6 サブルーチンのソート表示
- 14.6 エラーチェック
- 16章 プロジェクト間コピー

Ver2.7.0 新機能の説明を追加しました。

- 3.2.1 メニューバー
- 5.9.1 線・矢印部品
- 10.2.4 メモリのアクション設定
- 14.2 データ作成(USB)
補足説明を追加しました。

3) IS731 シリーズスタートアップガイド（第9版）



- 全体
Ver2.7.0の動作環境に更新しました。
- 2.3.2 ダウンロードデータ作成
「project」フォルダの補足説明を追加しました。
- 2.6.3 Ver2.5と比べてダウンロードに時間がかかる
新規追加しました。

4) IS-APP スタートアップガイド（第7版）



- 全体
Ver2.7.0の動作環境に更新しました。
- 1.6.3 方法3) Smart e-Studio を使用
EM8-W310A7、EMP-W207A7+Sstart を追加しました。

5) 上位通信テスト取扱説明書（第6版）



- 全体
Ver2.7.0の動作環境に更新しました。

6) Modbus 機器接続ガイド（第7版）



- 1.1 概要
シミュレータ対応について追加しました。
- 2.2.2 Modbus 対応版 IS-APP 設定ツールインストール
EM8-W310A7、EMP-W207A7+Sstart を追加しました。
- 3.4.2 Modbus 機器のデバイスに値を書き込む
- 4.1 Modbus 通信用メモリ
同じ Modbus メモリに短時間に連続で値を書き込んだ場合の補足説明を追加しました。
- 4.2.1 Link Error
- 4.2.2 Link Recover
誤記を修正しました。（イベントID）

2021/12/28

Version2.6.4

Rev.B

モジュールバージョン

InfoSOSA Builder		2.6.4.3
IS7 Runtime		2.6.4.3
IS-APP		2.3.4.1
IS-API		1.3.1
IS-APP SETTING		3.1.0

ソフトウェア変更内容

1) 不具合修正

IS731



- 起動時に画面が白画面状態で起動してしまう場合がある

[対象型式]

IS731-4WQ-***

IS731-4WQ-***-ML

[対象バージョン]

2.6.4.1

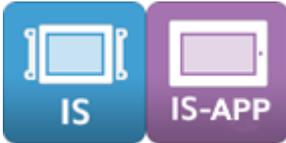
ドキュメント変更内容

1) リファレンスマニュアル（第7版）



- 13.6.2 値通知
文字列型メモリを通知した場合の書式について補足説明を追加しました。
- 13.12.3 文字コード設定
IS-API 使用時の文字コードに関する注意事項を追加しました。

2) ビルダ操作マニュアル（第8版）



- 2.2 InfoSOSA ビルダのインストール
ビルダをバージョンアップでインストールする際の注意事項を追加しました。

3) IS731 シリーズスタートアップガイド（第8版）



- 1.5.2 インストールの開始
ビルダをバージョンアップでインストールする際の注意事項を追加しました。

4) IS-APP スタートアップガイド（第6版）



- 1.4.2 インストールの開始
ビルダをバージョンアップでインストールする際の注意事項を追加しました。
- 2.1.7 コマンドライン引数
- 2.3.3 使用方法
IS-API 使用時の文字コードに関するの注意事項を追加しました。
- 2.2.3 同時接続可能数
IS-APP の TCP/IP サーバー対応に伴い、記載内容を更新しました。

5) Version2.5-2.6 移行ガイド（第5版）



- タイトル変更を変更しました。
合わせて全体的に説明文を見直しました。
- 以下の型式に対応しました。

IS731-4WQ1-D05

IS731-4WQ1-D05-ML

2021/1/29

Rev.A

モジュールバージョン

InfoSOSA Builder		2.6.4.1
IS7 Runtime		2.6.4.1
IS-APP		2.3.4.1
IS-API		1.3.1
IS-APP SETTING		3.1.0

ソフトウェア変更内容

1) 機能改善

IS731



- 以下の型式に対応しました。

IS731-4WQ1-***

IS731-4WQ1-***-ML

- Modbus プロトコル（マスタ）に対応しました。※オプション
※別途「InfoSOSA Builder Modbus 機能追加ツール」の実行が必要です。
- 本体に保存される画面データの書き込み性能を向上しました。
- データチェック機能追加しました。
ダウンロードされている画面データの破損をセルフチェックする機能です。
- 値変化イベントを追加しました。
メモリの値が変化したことをトリガーに任意のアクションを実行できます。

上位通信テスタ (Ver.2.2.0.0)



- TCP Client 機能を追加しました。

IS-APP



- Modbus プロトコル（マスタ）に対応しました。※オプション
※別途「InfoSOSA Builder Modbus 機能追加ツール」の実行が必要です。
- データチェック機能追加しました。
ダウンロードされている画面データの破損をセルフチェックする機能です。
- 値変化イベントを追加しました。
メモリの値が変化したことをトリガーに任意のアクションを実行できます。
- TCP Server 機能追加しました。
複数のユーザアプリケーションと同時接続可能になりました。
- 通信インタフェース拡張
ユーザアプリケーションと外部シリアルなど複数の通信先を選択可能になりました。

IS-API



- TCP Client 機能を追加しました。

IS-APP SETTING (Ver3.1.0)



- 新機能に対応しました。

2) 不具合修正

IS731



- RS485 通信を長時間*行うと動作停止する ※約 100ms 間隔の通信頻度で約 60 時間
- 115200bps、パリティ無し以外に設定したプロジェクトを SIO ダウンロードした場合にビルダ上に完了と表示されない ※ダウンロード自体は完了します。表示上の問題です。

IS-APP



- 特定座標以上の値指定した場合にポップアップを表示できない

IS-API



- TCP Server 機能で動作中 IS-APP が再起動した場合、再接続できない場合がある

3) 仕様変更

InfoSOSA Builder



- 操作のアンドゥ(元に戻す)の最大回数を 20 回に変更しました。

IS-APP



- 起動エラー時のウィンドウサイズが機種に関わらず固定になっていたのを実行機種に応じて変わるように変更しました。
- コマンドライン引数に“-s”を指定し、デバイスファイルを省略した場合のデフォルト値を“/dev/ttymxo*”から“/dev/com1”に変更しました。

ドキュメント変更内容

1) リファレンスマニュアル (第 6 版)



- 新機能に対応しました。

2) ビルダ操作マニュアル（第7版）



- 開発キットデータの提供方法をCD-ROMからインターネットからのダウンロードへの変更に伴う記述内容の更新を行いました。
- 以下の型式に対応しました。

IS731-4WQ1-***
IS731-4WQ1-***-ML

3) IS731 シリーズスタートアップガイド（第7版）



- 開発キットデータの提供方法をCD-ROMからインターネットからのダウンロードへの変更に伴う記述内容の更新を行いました。

4) IS-APP スタートアップガイド（第5版）



- 開発キットデータの提供方法をCD-ROMからインターネットからのダウンロードへの変更に伴う記述内容の更新を行いました。
- 1.5 EM シリーズ本体とPC との接続
- 1.6 IS-APP/IS-API のインストール項目を新規追加しました。
- 1.7.7 EM シリーズへ転送
- 2.3 ISAPP SETTING
EM-Linux システムバージョン 3.0.0 に対応しました。
- 2.1.7 コマンドライン引数
- 2.2.7 ClsApi/ClsApi_c
新機能に対応しました。

5) Modbus 機器接続ガイド (第 6 版)



- 新規追加ドキュメントです。

2020/9/1

Version2.6.0

Rev.D

モジュールバージョン

InfoSOSA Builder		2.6.0.2
IS7 Runtime		2.6.0.1
IS-APP		2.2.4.6
IS-API		1.2.1

ドキュメント変更内容

1) IS731 シリーズ 製品仕様書 (第5版)

- 以下の型式についての記載を追加しました。

IS731-3Q-D05
IS731-3Q-D05-ML
IS731-3Q-D05-KIT
IS731-3Q-D05-ML-KIT

2) IS731 シリーズ 取扱説明書 (第4版)

- 以下の型式についての記載を追加しました。

IS731-3Q-D05
IS731-3Q-D05-ML
IS731-3Q-D05-KIT
IS731-3Q-D05-ML-KIT

2020/6/1

Rev.C

モジュールバージョン

InfoSOSA Builder		2.6.0.2
IS7 Runtime		2.6.0.1
IS-APP		2.2.4.6
IS-API		1.2.1

ソフトウェア変更内容

1) 不具合修正

IS-APP



- 稀に正常に起動しない場合がある（「No Data Error」と表示されたまま停止する）

2020/1/10

Rev.B

モジュールバージョン

InfoSOSA Builder		2.6.0.1
IS7 Runtime		2.6.0.1
IS-APP		2.2.4.5
IS-API		1.2.1

ドキュメント変更内容

1) ビルダ操作マニュアル（第6版）



- 2.3.2 USB デバイスドライバアンインストール手順
Ver2.5 でダウンロードできない場合の対処を更新しました。

2) IS731 シリーズスタートアップガイド（第6版）



- 2.6 トラブルシューティング
Ver2.5 でダウンロードできない場合の対処を更新しました。

2019/12/13

Rev.A

モジュールバージョン

InfoSOSA Builder		2.6.0.1
IS7 Runtime		2.6.0.1
IS-APP		2.2.4.5
IS-API		1.2.1

ソフトウェア変更内容

1) 機能改善

IS731



- 以下の型式に対応しました。

IS731-3Q-D05

IS731-3Q-D05-ML

- ダウンロード(USB)の内部処理を変更し、接続性、安定性を改善しました。
Windows PC 側の USB ストレージへのコピー制限等でダウンロードできなかった場合でも可能になります。
- ダウンロード(SIO)での、プロジェクト実行アプリケーションの更新に対応しました。
ビルダと本体のプロジェクト実行アプリケーションのバージョンが異なる場合、ダウンロード(USB)と同様に自動的にビルダのバージョンに更新されます。

2) 仕様変更

IS731



- 電源 ON 時の通信初期化タイミングを見直しました。
- 通信時のハードウェアフローの制御処理を見直しました。

3) 不具合修正

IS731



- 画面構成によっては、稀に画面がちらつくことがある

ドキュメント変更内容

1) リファレンスマニュアル（第5版）



- 以下の型式に対応しました。

IS731-3Q-D05

IS731-3Q-D05-ML

2) ビルダ操作マニュアル（第5版）



- Ver2.6 に対応しました。
- 以下の型式に対応しました。

IS731-3Q-D05

IS731-3Q-D05-ML

3) IS731 シリーズスタートアップガイド（第5版）



- 以下の型式に対応しました。

IS731-3Q-D05

IS731-3Q-D05-ML

4) IS-APP スタートアップガイド（第3版）



- 以下の型式に対応しました。

EM8-W207A7-0005-207

EMG8-W207A7-0005-207

EMP-W207A7-0024-207

5) Version2.5 移行ガイド（第4版）



- 以下の型式に対応しました。

IS731-3Q-D05

IS731-3Q-D05-ML

- 3.1.5 ソフトウェア構成
- 3.1.6 工場出荷時のソフトウェアバージョン
新規追加しました。

2019/9/10

Version2.5.6

Rev.B

モジュールバージョン

InfoSOSA Builder		2.5.6.3
IS7 Runtime		2.5.6.1
IS-APP		2.2.4.5
IS-API		1.2.1

ソフトウェア変更内容

1) 機能改善

IS-APP



- LAN または IS-API と高負荷で通信を行った場合の安定性を改善しました。
- 長時間または高負荷で使用した場合の動作の安定性を改善しました。

IS-API



- IS-API の ClsApi クラスオブジェクトの停止、再生成に対応しました。
- 通信切断後の再接続に対応しました。
- IS-API の送受信バッファが不必要に大きかったため、適正なサイズに変更しました。
- IS-API の送信バッファに空きがない場合、標準出力に高負荷であることを示すメッセージを表示するように変更しました。(開発用)
※このメッセージが表示された場合は、送信データ量、送信間隔を減らして下さい。
- 長時間または高負荷で使用した場合の動作の安定性を改善しました。

2) 不具合修正

IS-APP



- 画面端辺りをタッチした場合、稀に2点タッチが行えない状態になる場合がある

2019/4/8

Rev.A

モジュールバージョン

InfoSOSA Builder		2.5.6.1
IS7 Runtime		
IS-APP		2.2.4.1
IS-API		1.0.1

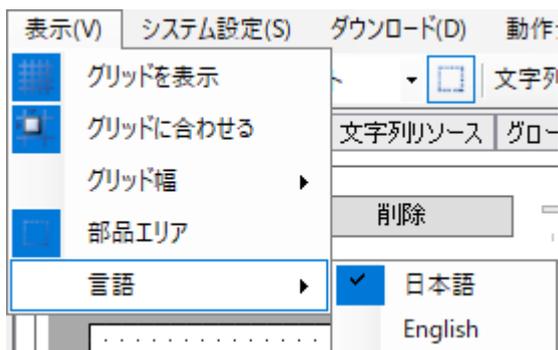
ソフトウェア変更内容

1) 機能追加

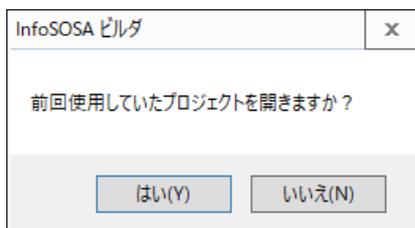
InfoSOSA Builder



- 英語表示に対応しました。
上部メニュー「表示」-「言語」から表示言語を日本語と英語を選択できます。



- 起動時に「前回使用したプロジェクト」を開く機能を追加しました。



2) 機能改善

IS-APP



- LAN 通信のレスポンス速度を改善しました。

3) 不具合修正

IS-APP



- 2点タッチしたまま指を動かすとタッチが連続して入力される場合がある
- ダブルタップすると2回目のリリース処理が発生しない場合がある
- アプリケーション起動時に稀に TCP/IP の接続処理が正常に行なわれない場合がある

IS-API



- 特定の条件で「値通知イベント」を正常に受信できない場合がある

ドキュメント変更内容

1) リファレンスマニュアル（第4版）



- 4.14.1 ピクチャボックス
誤記を修正しました。
- 11.2 環境変数
誤記を修正しました。

2) ビルダ操作マニュアル（第4版）



- 2章 InfoSOSA ビルダのインストール
記載内容を更新しました。
- 4.6 最近使用したプロジェクトを開く
- 6.4 言語の切り替え
新機能に対応しました。
- 14章 ダウンロード
記載内容を更新しました。
- 16.1 機種名対応一覧
記載内容を更新しました。

3) Version2.5 移行ガイド (第3版)



- 1.2 InfoSOSA Ver2.5 対応製品
- 1.3 変換対応機種／バージョン
記載内容を更新しました。

4) IS-APP スタートアップガイド (第2版)



- 2.1.5 使用可能システムフォント数
新規追加しました。
- 2.3 ISAPP SETTING
新バージョン(Ver2.0.0)に対応しました。
ストレージ領域のフォーマットについて追加しました。

5) IS731 シリーズスタートアップガイド (第4版)



- 1.6.1 USB ケーブルでの接続
補足説明を追加しました。
- 2.1.2 IS731-5V シリーズ
新規追加しました。

2018/5/31

Version2.5.3

Rev.A

モジュールバージョン

InfoSOSA Builder		2.5.3.1
IS7 Runtime		
IS-APP		2.2.2.1
IS-API		1.0.0

ソフトウェア変更内容

1) 機能追加

IS731/IS-APP 共通



- 1つの部品内の文字列リソースセットごとに「システムフォント」と「イメージフォント」を個別に設定可能になりました。

文字描画方法

	日本語	ベトナム語	中国語
文字フォント	システムフォント	イメージフォント	システムフォント
	---	Arial	---
文字サイズ	16	16	16

この機能により、システムフォントが無い言語も同時に表示可能になります。

※ イメージフォントに使用するフォントの利用条件にご注意下さい。

IS731



- Ver2.1 との互換のため、データ作成(SIO/LAN)を追加しました。

ドキュメント変更内容

1) リファレンスマニュアル（第3版）



- 新機能に対応しました。

2) ビルダ操作マニュアル（第3版）



- 新機能に対応しました。

3) IS731 シリーズスタートアップガイド（第3版）



- 新機能に対応しました。

2017/8/31

Version2.5.2

Rev.A

モジュールバージョン

InfoSOSA Builder		2.5.2.1
IS7 Runtime		
IS-APP		2.2.1.1
IS-API		1.0.0

ソフトウェア変更内容

IS-APP に対応しました。

IS-APP については「IS-APP スタートアップガイド」を参照下さい。

2017/7/31

Version2.5.1

Rev.A

モジュールバージョン

InfoSOSA Builder		2.5.1.1
IS7 Runtime		

ソフトウェア変更内容

初回リリースを行いました。

Version2.0/2.1 からの変更点は、別紙「InfoSOSA Ver2.1 からの移行ガイド」を参照下さい。

2017/5/31